

鶴川図書館大好き！の会 第1回集会記録

日時：2019年6月16日（日） PM2：00～4：30

場所：鶴川市民センター1階 第1会議室

参加者：16名

「まちだ未来の会」代表あいさつ（菌田）

先日5月26団地のバザーに初めて参加。これからも町へ出て、
いろいろな人の意見を聞き、鶴川図書館を守っていきたい。

「鶴川図書館大好き！の会」代表あいさつ（富岡）

図書館は地域にとってなくてはならない存在。建て替えがなくなった
ことで、今後市がどう出てくるか、引き続き運動を進め、市の考えを変えていきたい。



1.この間の出来事

（鈴木）5月26日は30度を越す暑さのなかであったが、古本市は2万円くらい売上げることができた。子供向け図書館クイズは図書館司書の協力も得て、10種類の年齢に合わせたクイズを作成。子どもたちは図書館を訪れて楽しそうに参加、参加者はSさん作の折り紙「紙駒」とお菓子をもらった。木陰ではおはなし会を開催。署名は80筆ほど集まった。

一方、6月議会は11日から13日まで開かれたが、田中美穂議員が質問。

図書館の1.5km重複の数字の根拠について質したところ、「全国的な基準はなく、目安がないというわけにいかないので1.5kmとした」との回答。それにたいして、「図書館情報学辞典で調べたら、1kmが適当。1.5kmを越えると、利用者は急激に減少するとも書かれていた。集約によって3km遠ざかる地域も出る。子どもや高齢者の利用がしにくくなることをどう考えるか」と質問。その点については、鶴川の再編に当たって代替機能で対処と答弁。

田中：市民意識調査や請願には市民ニーズがある。鶴川図書館については代替機能とあるが、さるびあ図書館については代替機能のことが何も書いてないのは？という質問に対しては、部長は、3月議会で、請願に書かれていたと言ったが、代替機能はワークショップで出た市民の意見であって、請願の中で書かれていたのは集う場所が欲しいということだけだったと答弁。（実質、3月議会の発言を訂正）そのワークショップでは、請願が通ったことについて言及は全くなされず、参加者からの発言でほかの参加者は初めて知った。

（富岡）団地夏まつりについては、図書館より古本を提供したいという申し出があった。

2.意見交換・・・自己紹介と「わたしにとって図書館は・・・」

○広袴在住。2004年より鶴2小でかぶと虫の住む森について広めているほか、陸前高田のイモリを育てる活動などを行っている。

○鶴川6丁目在住。鶴川図書館は子どもの時通った場所で、現在はその図書館でアルバイトしている。まつりの図書館クイズの時はちょうど勤務しており、子どもたちは楽しそうにやって来て、受ける図書館側も楽しかった。

○鶴川6丁目在住。週1~2回図書館に調べものに行っている。5丁目自治会の老人クラブで新聞を作っているのが多く便利。子どものころは貧しかったため図書館は重要な場所だった。1.5kmは、おかしい。一律な距離ではなく、人口密度で考えるべきではないか。

○真光寺在住。以前鶴川6丁目に住んでおり、子どもはききょう保育園で育った。団地バザーでは

- 人形劇をしたり、子どもも「こだぬき」で太鼓をたたいたりした。夫は岩手の山田町で復興事業をしている。
- 小野路在住。鶴川団地は商店街があり、図書館があり、完全な町を形成している。団地の商店街のなかに図書館があるのは全国でも稀。守っていききたい。
 - 読み聞かせで図書館のボランティアをしている。鶴川団地は空き店舗を作らない工夫をし、雰囲気がいい。請願が通って安心していたが、方針はかわらないと聞いてびっくりしている。見守っていききたい。
 - 金井在住。文庫活動をしており、ポプリホールが出来るときは市民ワークショップで関わった。
 - 図書館職員として 35 年勤務。公共施設再編は全国で行われているが、町田市で一番多い施設である学校は 60 あって、それにお金がかかることから、生涯学習施設（図書館や博物館、集会施設など）に白羽の矢が当たった。2017 年 4 月まちだ未来の会を作り活動してきたが、市は方針をまったく変えない。図書館存続に向けてできるだけ活動を広めていきたい。
 - 浪江虔氏の私設図書館があった裏の地域に在住。サッカー場の観客席拡充のため野津田公園が削られようとしている。市は直接収益につながらないところを削ろうとしている。町田であった「23 万人の個展」のような個人がアピールできる町田市民まつりを現在企画中。9/15 シバヒロで開催。参加の人は 6/20 の準備会へ。
 - センター名店会で S43 年から開業、名店会の事務局長、5 丁目自治会事務局をしています。
 - 鶴川 2 丁目在住。移動図書館の時代から図書館を利用。今のお話し室に図書館が開かれたときにはうれしく、ここで 4 人の子どもを育ててきた。地域に図書館があるのが当たり前と思ってきた。高齢化し、高齢者が毎日新聞を読み、あるいは本を借りに訪れている。閉じこもり防止にも有効。今 2 丁目自治会長を務めている。
 - 鶴川 2 丁目在住。団地のまつりは、3 団地合同で商店会も加わるという形で行われている。図書館は利用者が多いのになぜつぶすのか？
 - Q)実態調査はしているのだろうか？→A)している。利用者数は減少傾向にあるが、資料費が減っていることも原因、でも市はそのことは言わない。
 - Q)地区別の利用者のデータはあるか？→A)市も利用者データは出している。
 私は北海道に育ち、学生時代は上京。これはみなさんもうらやましいと思うだろうが、国会図書館は今の迎賓館で、よく行き、庭園も散歩したものだ。
 - 鶴川 5 丁目在住。図書館ワークショップの時、老朽化しているから続けられないと聞き、びっくりした。ぼろぼろじゃないです。「請願が通っていることをなぜ言わない？」と発言すると、参加者の空気が変わり、「ではなんの目的でこれがなされているのか？」と疑問が出た。結局駅前、鶴川両方あったほうが良いとなった。バザーのときは、足が悪く杖をついていたのでせめて知っている人に声掛けをした。すると、「請願通ったんでしょ？」とみんな驚いていた。市は説明を怠っている。また、真光寺の方は子どもが多いので図書館が必要という話も聞いた。
 - 広袴在住。3 小、4 小の学童保育に指導員として関わり、大蔵小の学童保育を立ち上げた。柿の本文庫のお話し会に引率していたとき、帰りの子どもたちが生き生きして、行きとは全然違っていることに気付いた。OB の 20 歳の子たちも文庫行ったよねと盛り上がる。地域に文庫や図書館があるということは、駅前に図書館があるということとは違う良さがある。鶴川図書館は、利用する人に的確なアドバイスができる場で重要。子どもたちは広場で遊んで行きたいときにすぐ行ける貴重な場所である。現在、「みんなのそら」で子育て支援、冒険あそび場も手



伝い、ききょう保育園で子育ての相談員をやっている。

○博物館そばに在住。和光大学科目等履修生。前回、のぼりのキャッチフレーズの話し合いで We♥(らぶ) 鶴川図書館 を提案したあと、商標登録で大丈夫か不安になり、大学や国会図書館のレファレンスを使い調べて、レファレンスの大事さを実感した。そのことをレポートしたところ先生に褒められ、発表してみないかと言われた。

○金井町在住。文庫でお話し会をしている。前回のぼりがあるといいという意見があり、キャッチフレーズが出たので、「We♥鶴川図書館」ののぼりを作った。小さな子連れママたちに見てもらえるようアプリケをしてアットホームな感じにした。

3.夏まつりへの参加について

7/27(土)28(日) 4:00~8:50p.m.

どんな様子？

太陽の広場中央の木陰あたりにステージ。太鼓やゲーム。すこし間を空けてテントや模擬店が取り囲む。下駐車場あたりに盆踊りのやぐら。その前にセントラル商店街出店。模擬店は食べ物が多く、焼きそば、フランクフルト、かき氷、等。やきもの(つるかわ学園)、鶴の羽根の会、ゲーム(東京土建)、ヨーヨー、バスケットボール(町田ビークール)等。

会の取り組み案

- ・図書館の情報をカードにして知らせる。署名集め。
- ・こわいおはなし会・・・場所がないか？
- ・縁日・・・子どもの本を寄付してもらい、20円くらいで売る。集める方法？
- ・かぶと虫やイモリ(子どもたちがカブトムシなどを遊びで売るとは毎年やっている。)
- ・図書館の古本をあげる際のゲーム遊び

以上の案をふまえ、おまつり担当を決め、内容をつめる。

担当：(藺田)(篠田)(西川)(鈴木真)

出店説明会に出席。出店者は 鶴川図書館大好き！の会

*雨が多いので、テントを借りるように。

次のバザーは10月27日(日) 馬が来る？

4.その他

*6/29 鶴川図書館とコラボで「ポケモンの本を読む一田尻サトシさんを読む会」小学生対象。

1:00~おはなし室 (篠田さん)

*図書館にまつわる動画作成・・・子どもたちのアイディアで図書館のコマーシャルテーマ

世代間交流が地域コミュニティーで行われている。

図書館があることによって生まれる共存共生・・・プロデュースできる。(鈴木浩美さん)

まず、それぞれビデオやスマホで映像を撮りためてはどうか？

次回は

7月6日(土) 2:00pmより 鶴川市民センター 1階会議室

(2019.6.19.発行)